

[ 成果情報名 ] 豚肉の安全性に関する消費者ニーズとそのコスト負担の考え方

[ 要約 ] 豚肉の安全性に関して消費者が特に重視する事項は「肉の表示に間違いや嘘はないか」(64.7%)と「飼料添加剤(抗生物質等)の残留」(58.4%)で、安全性を重視する消費者の約53%は安全性を高める取り組みに対してコスト負担してもかまわないと考えている。

[ キーワード ] 豚肉、安全、消費者、飼料添加剤、抗生物質、コスト

[ 担当 ] 長崎畜試・中小家畜科

[ 連絡先 ] 電話0957-68-1135、電子メールmatsumoto-shin@pref.nagasaki.lg.jp

[ 区分 ] 畜産

[ 分類 ] 行政

[ 背景・ねらい ]

食肉の生産・流通の在り方が問われている中で、消費者が求める食肉の姿を十分に確かめて、そのニーズに適した食肉の生産・流通が行われるような行政施策や試験研究(テーマ設定)が求められている。

本調査では豚肉に関する消費者ニーズ、特に消費者が求める安全・安心な豚肉の在り方について次のような観点から調査する。

- ・通常豚肉を購入する場合に、消費者は原産地、安全性、新鮮さ、食味、価格等の中で何を重視するのか
- ・飼料添加剤(抗生物質等)の使用や遺伝子組み換え技術で生産された飼料等豚肉の安全性に関連して最も気になる事項は何か
- ・これまで以上に安全性を高める取り組みを生産者や流通関係者が開始した場合に、それに伴って豚肉の小売価格が上がることを容認するか?また容認する場合、価格上昇はどの程度まで許容できるか
- ・野外で飼育した「放牧豚」の豚肉についてどの程度関心があるか

[ 成果の内容・特徴 ]

消費者が求める安全・安心な豚肉についてアンケート調査を行った。平成14年11月に長崎県内の生活学校会員310名に調査票を郵送し、228名の回答を得た(回答率73.5%)。

1. 豚肉を購入するには、「安全性」を重視する回答が最も多く(全体の84.4%)、次いで「新鮮さ」(58.2%)、「原産国」(52.4%)、「産地」(41.8%)の順である。価格を重視する回答は比較的少なく(24.0%)、回答者の多くは価格の安いことよりも安全性を優先している(表1)。
2. 豚肉の安全性に関して回答者の5割以上が気にしている事項は「肉の表示に間違いや嘘はないか」(64.7%)と「飼料添加剤(抗生物質等)の残留」(58.4%)である(表2)。
3. 安全性を重視する回答者の中で53.1%(=全回答者の45%)の人は安全性を高める取り組みに対して消費者もコストを負担してかまわないと考えており、そのコスト負担の限度は現行小売価格の「5%以内」(52.7%)が過半を占める(表3、表4)。
4. 野外で飼育する放牧豚について関心を示す消費者は46.5%で、その内の約半数は放牧飼育された豚肉の試食を希望している。放牧豚のニーズは比較的高いと考えられる。

(表5)

[ 成果の活用面・留意点 ]

1. 豚肉の生産・流通に関する行政施策や試験研究の立案に活用できる。
2. 今回調査では50歳以上の女性の回答が約85%を占めており、比較的高齢の女性消費者の意見が主に集約されている。

[ 具体的データ ]

表1 豚肉を購入する場合に重視する項目

	原産国	産地	銘柄	新鮮さ	安全性	食味	脂身	価格	計
回答数(人)	118	94	28	131	190	41	46	54	225
割合(%)	52.4	41.8	12.4	58.2	84.4	18.2	20.4	24.0	

表2 豚肉の安全性で最も気になる事項

	飼料添加剤(抗生物質等)の残留	どういう餌を食べて育ったか	遺伝子組替技術で栽培された飼料を食べてないか	豚の生産段階で遺伝子操作やクローン技術を使われてないか	肉の処理・流通(カットやパック詰め)作業は衛生的か	肉の表示(原産国や日付等)に間違いや嘘はないか	その他	計
回答数	111	93	84	76	92	123	8	190
割合(%)	58.4	48.9	44.2	40.0	48.4	64.7	4.2	

表3 豚肉の安全性を高めるコスト負担のあり方

	生産者及び流通業者が負担する	消費者が負担する	生産者、流通業者及び消費者がそれぞれ負担する	わからない	計
回答数	60	5	96	29	190
割合(%)	31.6	2.6	50.5	15.3	100

表4 豚肉小売価格へのコスト上乗せの限界はどの程度か

	5%以内	10%以内	15%以内	20%以内	20%以上	わからない	計
回答数	59	15	3	2	1	32	112
割合(%)	52.7	13.4	2.7	1.8	0.9	28.6	100

表5 「放牧豚」への関心の有無

	関心あり	関心なし	どちらとも言えない	計
回答数	105	20	101	226
割合(%)	46.5	8.8	44.7	100

[ その他 ]

研究課題名：健康・安心な豚肉生産技術の確立

予算区分：県単

研究期間：2002～2003年度

研究担当者：松本信助、中野雅之（長崎県農大）

発表論文等：

1)松本・中野（2003）西日本畜産学会 54回大会号:57.